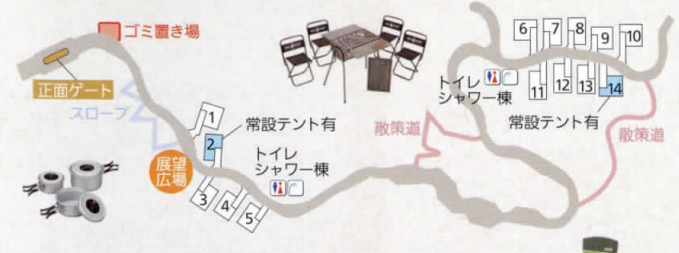


オートキャンプ場 木もれびの中、思いっきり自然と遊ぶ
安全で快適なキャンプ場です。



《オートキャンプ場概要〈要予約〉14サイト》

- 開設期間 / 1月4日～12月28日
- 利用時間 / 宿泊:午後3時から翌日の午後2時まで
休憩:午前10時から午後2時まで
- チェックイン / 午後3時から午後5時30分まで
※午後10時から翌朝7時まで、車で出入り出来ません。
※上記地図上の2及び14は常設テント(有料)があります。

	[区分]	[単位]	[使用料]
一般サイト	宿泊の場合	1サイト1夜につき	3,730円
	休憩の場合	1サイト1回につき	1,860円
電源設備 (20A)	宿泊の場合	1サイト1夜につき	500円
	休憩の場合	1サイト1回につき	250円

《レンタル用品等》

[キャンプ用品]	[使用料]
テント(6人用)	1,500円
寝袋	500円
まな板・包丁セット	100円
ガスランタン(燃料・マントル別)	500円
タープセット	1,000円
電気冷温ボックス	1,000円
テーブル	300円
イス	300円

《利用設備等》

コイン洗濯機	1回	200円
コイン乾燥機	10分	100円
コインシャワー	1回5分(温水)	200円

《ご予約にあたって》

■予約受付時間/午前8時30分～午後5時30分まで
電話予約 / 3ヶ月前の月始めから受付いたします。
ネット予約 / 2ヶ月前から受付いたします。



万葉公園管理センター
園内のインフォメーション、利用受付など総括機能をもちます。売店もあります。ご利用ください。



歴史、遊び、体験。

Shimane Prefectural MANYO * PARK

アクセスマップ



周辺詳細図



お問い合わせ

- 島根県立万葉公園管理センター
〒698-0041 益田市高津町イ2402-1
TEL.0856-22-2133 FAX.0856-22-2166
- 指定管理者 大畑建設株式会社
〒698-0012 益田市大谷町36-3
TEL.0856-23-3530(代)
- 島根県益田県土整備事務所
〒698-0007 益田市昭和町13-3
TEL.0856-23-2350(代)
- 島根県土木部都市計画課
〒690-8501 松江市殿町1
TEL.0852-22-5111(代)

<http://ohata.jp/manyou/>

《古代ロマン》を伝える

現存する最古の歌集『万葉集』に詠まれている歌の約1割が、8世紀初頭に石見地方に住んでいたとされる歌聖柿本人麻呂の作品であるといわれています。

このことから、万葉集ならびに柿本人麻呂は石見地方における古代文化の象徴とされてきました。

園内の人麻呂展望広場には、人麻呂が詠った歌、旅の途中や石見で詠った歌や地域にゆかりのある歌の中から三十五首を歌碑として配置。広場からは雄大な日本海や万葉集に詠われた山々を臨む事が出来ます。園内全域にわたって、人麻呂の詠んだ詩歌など多くの万葉の歌が展示しており、人麻呂が生涯のひとときを過ごした、石見地方の

万葉文化に触れることができます。また、園内では万葉まつりや万葉短歌大会などのイベントが行われるなど、この万葉公園を通じて、万葉の歴史や文化の継承が今も絶えることなく続けられています。

◆スタンプラリーを通して
公園内の歌板・歌碑付近にスタンプポイントを設置し、スタンプを集めながらゲーム感覚で万葉集を身近に感じる事ができます。

◆万葉植物に想いを託して
万葉植物とは、「万葉集」に詠まれている植物で、万葉植物園には約150種類もの植物があります。万葉歌人は、自分の想いを花や木に託して歌を詠みました。万葉植物は、古代人の心情と情景を誘います。

スタンプを全部集めると《特製缶バッジ》を差し上げます。

万葉公園 四季の花 四季折々の美しい花が、公園を彩ります。

春 spring

枝の先に壺の形をした白い花をつける《アセビ》が至る所で楽しめます。

夏 summer

雨が良く似合う《アジサイ》。万葉集には2首詠まれています。

秋 autumn

ススキに寄生する可愛らしい紫の《ナンバンギセル》。

冬 winter

多くの万葉歌人に愛された《ウメ》の開花は春の訪れの喜びを感じます。

人麻呂の、愛が眠る場所。

—そして、万葉のロマンは語り継がれます。

柿本人麻呂や万葉歌人が詠んだ歌碑・歌板が公園内に並び、万葉植物を通じて万葉のロマンに想いを馳せ、緑豊かな自然の中でレクリエーションの時間を共有することができます。

— 車道
— 歩道

A: オートキャンプ場

快適なキャンプを約束する設備が各サイトに設けられています。



L: まほろばの園

ゆっくりくつろげる庭園と“曲水の宴”のできる流れ川があります。



M: 人麻呂展望広場

万葉集に収められている人麻呂の歌や島根県にゆかりのある歌の歌碑がたてられています。歌にちなんだ植物や景色も鑑賞できる広場です。



K: ふれあいの牧

緑豊かな自然の中でおいしい空気を満喫できる歩道です。



J: 太陽の広場

薫り高く、優美な房を垂れる藤を眺め心地よい木漏れ日を感じる憩いの場です。広大な芝生の上で寝転んだり遊んだりできます。



C: 子どもの広場

スリルがあり迫力満点の遊具をはじめ、健康遊具などが揃い子どもから大人まで楽しめます。



D: 万葉植物園

万葉集で詠まれた四季折々の植物を植栽し、それに関する歌も展示しています。



E: 和風休憩所

万葉関連資料の展示と休憩利用ができるスペースです。



F: 高津柿本神社

“万葉集”に数多くの歌を残した柿本人麻呂ゆかりの神社。



G: 和風野外音楽堂

石見神楽等の郷土芸能を演じる場として親しまれています。



2月3日の節分祭

H: 水と青空の広場

広場内にあるやすらぎの家。美しい景色を前にくつろぎの時間を楽しめます。



I: 木の宿

樹に宿る神!? パワースポット 道祖神のそばにある樹齢200年以上のスダジイの木。よく見ると顔が…



I: 石の広場

石の信仰があった万葉時代を偲び石を詠んだ歌を展示しています。

